

1	(1) 521	(2) 7	(3) 25	(4) 6
	(5) 990	(6) 26	(7) 74	(8) 19
	(9) 37	(10) 20 (dL)	(11) 28 (分)	(12) 5 (か月)

2	(1) 26 本	(2) 49 本
---	----------	----------

3	(1) 29 けた	(2) 32
---	-----------	--------

4	(1) 300 m	(2) 500 m	(3) 100 m
---	-----------	-----------	-----------

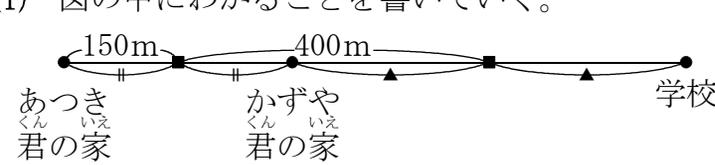
5	(1) 5 かい	(2) 6 かい	(3) 9 かい
---	----------	----------	----------

(配点) ^{はいてん}1 ; 各 ^{かくてん}5 点 × 12 ^{ほか}他 ; 各 ^{かくてん}4 点 × 10

- 1 (6) $100 = \square + 74$
 $100 - 74 = \square = 26$
- (7) $10 = \square - 64$
 $\square = 10 + 64 = 74$
- (8) $123 + \square = 142$
 $\square = 142 - 123 = 19$
- (9) $\square + 64 = 101$
 $\square = 101 - 64 = 37$
- (10) $1\text{ dL} = 100\text{ mL} \rightarrow 2000\text{ mL} = 20\text{ dL}$
- (11) $1\text{ 時間 } 13\text{ 分} - \square\text{ 分} = 45\text{ 分}$
 $\square\text{ 分} = 1\text{ 時間 } 13\text{ 分} - 45\text{ 分}$
 $= 60\text{ 分} + 13\text{ 分} - 45\text{ 分} = 28\text{ 分}$
- (12) $1\text{ 年} = 12\text{ か月}$
 $53 = 12 + 12 + 12 + 12 + 5$
 より、 $53\text{ か月} = 4\text{ 年 } 5\text{ か月}$

- 2 (1) 図1を利用する。図1と同じもようが2つに、2本つけたす。
 $12 + 12 + 2 = 26\text{ (本)}$
- (2) 図2を利用する。図2と同じもようが2つだが、重なりが3本。
 $26 + 26 - 3 = 49\text{ (本)}$

- 3 (1) 1から9までで、1けたの数が9こ。
 10から19までで、2けたの数が10こ。
 $1 \times 9 = 9\text{ (けた)}$
 $2 \times 10 = 20\text{ (けた)}$
 $9 + 20 = 29\text{ (けた)}$
- (2) 2けたの数を1つふやすと、2けたふえる。
 $55 - 9 = 46$, $46 = 23 + 23$ なので、
 2けたの数を23こつなげるとよい。
 10, 11, ...の23こめは、
 $10 + 23 - 1 = 32$ なので、
 32 までつなげたとき。

- 4 (1) 図の中にわかることを書いていく。

 よって、あつき君の家から、かずや君の家までは、
 $150 + 150 = 300\text{ (m)}$
- (2) $400 - 150 = 250\text{ (m)} \dots$
 $250 + 250 = 500\text{ (m)}$
- (3) $300 + 500 = 800\text{ (m)}$
 $800 = 400 + 400$ より、かずや君は家から、
 $400 - 300 = 100\text{ (m)}$ 歩くとよい。

- 5 (1) 13点を2点と5点の組み合わせで作る。
 さとし君
 $13 = 2 + 2 + 2 + 2 + 5$ のみ。
 よって、さとし君はじゃんけんに5回勝っている。
- (2) ほかの2人も組み合わせを考える。
 たくみ君
 $12 = 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 \dots \textcircled{A}$
 $12 = 2 + 5 + 5 \dots \textcircled{B}$
 なおと君
 $15 = 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 5 \dots \textcircled{C}$
 $15 = 5 + 5 + 5 \dots \textcircled{D}$
 なおと君が \textcircled{D} だと、なおと君は2人で勝ちのときがない。たくみ君が \textcircled{A} でも \textcircled{B} でも、さとし君とたくみ君の2人で勝ちの回数が合わないのでおかしい。よって、なおと君は \textcircled{C} で、じゃんけんに6回勝っている。
- (3) たくみ君が \textcircled{A} だと、2人で勝ちの回数が、
 $4 + 6 + 5 = 15\text{ (回)}$ と奇数になりおかしい。
 (勝ちになるのが2人ずつだから)
 よって、たくみ君は \textcircled{B} 。
 1人が勝ちのじゃんけんは、 $1 + 2 + 1 = 4\text{ (回)}$
 2人が勝ちのじゃんけんは、 $4 + 1 + 5 = 10\text{ (回)}$
 $10 = 5 + 5$ なので、5回。
 合わせてじゃんけんは、 $4 + 5 = 9\text{ (回)}$
 3人の点数の取り方の、一つの例は下の図。
 $\textcircled{1}\textcircled{2}\textcircled{3}\textcircled{4}\textcircled{5}\textcircled{6}\textcircled{7}\textcircled{8}\textcircled{9}$
 さとし君... $2222 \times 5 \times \times \times \rightarrow 13\text{ 点}$
 たくみ君... $\times \times \times \times 2 \times 55 \times \rightarrow 12\text{ 点}$
 なおと君... $22222 \times \times \times 5 \rightarrow 15\text{ 点}$